

ネイチャーセンター ガイド (101)

宝の山にルパン(佐藤さん)がいない!!

今月で3回目の登場になります、米犬、荻犬です。悲しいお話に引き続き、今月は怒り(?)的な感じです。

5月、6月と宝の山に遊びに行けません。私たちの都合ではなく、佐藤さんの都合により2カ月間も遊びに行けないのです。不満です。宝の山に行かなくても5月はなんとかこなせましたが、もう私たちは……。皆さんに話す事はありません。宝の山に行っていないのにどうやってネイチャーセンターガイドを書けばいいんですか!宝の山は石鹸も無いし、佐藤さんもない、一体この山はどうなっているんだ!

私たちは4年前、遠足で来たんだ…。その時はつよし先生、心の強い先生がいたんです。私たちはその日1日で宝の山を好きになってしまいました。そして現在はこのありさまですよ。信じられません。困ります。

1年ほど前、まことさんという人がいて、よく4人でドッジフリスビーをしていました。お

母さんに「もっと遊びたい!」と土下座をして頼んだものです。

そして翌年、なんとつよし先生に会えたんです。なぜかと言うと、宝の山に行く前日、スーパーでまことさんに会いました。なので米犬は「明日、宝の山につよしをつれてきてっ!」と言ったから会えました。さすがに1年たったから、そりゃ変わるだろとは思いましたが、予想外の展開になりました。ヤンキー化していた。(米犬・荻犬両犬とも引き気味でした)そして話も盛り上がり1日が終わった…。それからというものは宝の山に行かなくなりました。

何年か月日がたち、米犬の財布を忘れていた事に気付き、取りに行きました。そしてそのまま遊びました。それから行く回数も少なくなり、宝の山との関係はこの広報でしかつながりが無くなってしまいました。

でも、宝の山の都合により行ける日はすごく楽しいです。I LOVE 宝。

連絡・問合せ先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝日の翌日

防災ミニ情報

地震に備える『自分の身は自分で守る』

平成18年5月27日、インドネシアのジャワ島中部のジョグジャカルタ市沖合でマグニチュード6.3の地震が発生しました。

インドネシア国家災害対策調整庁によると、地震による建物被害は、全壊12万7千879棟、半壊18万2千392棟、一部損壊26万219棟などで、約20万人が避難生活を送り、死亡者の数は6月2日現在6千200名を超えています。

この原因は、建物の構造の違いにあります。建築基準が行き届かない農村部の壊れた家の多くは、れんがをセメントで積み上げ、瓦屋根をふいた平屋建てで、揺れに非常に弱い上、東大の目黒教授(都市

米地質調査所によると、今回の地震の規模はマグニチュード6.3。阪神大震災の32分の1、新潟県中越地震の6分の1の大きさです。日本で過去、同規模の地震が起きた場合の揺れは震度5弱から6弱。しかし、ジャワ地震では5万棟以上の家が全壊しました。

震源から10キロメートル余りのバントウル県チャンレン村やカランセムット村では、それぞれ数百世帯の90%以上が全壊。同県の死者は全体の5割にあたる3千人以上を占めています。震源から25キロメートルほどの人口密集地

震災軽減工学)は、れんがや石を積んだ「組積造」の家が壊れた場合の死亡率の高さを指摘しています。「1個の部材が小さいため、崩れた後のすき間、サバイバルスペース(生存空間)が少ない。瞬時に壊れ、土ぼこりで窒息した例も多かったのではないかとみています。

このように地震対策には、建物の耐震化が命を守る最重要な対策であることを改めて知らしめました。「自分の身は自分で守る」、「自分の家族はあなたが守る」今回のジャワ地震を教訓に地震対策を考えてはいかがでしょうか。